



2018年5月28日

各 位

上場会社名 **株式会社 やまねメディカル**
(コード番号 2144 : JASDAQ)
本店所在地 東京都中央区八重洲二丁目7番16号
代 表 者 代表取締役社長 山 根 洋 一
問 合 せ 先 経 理 財 務 部 長 西 山 勇 二
電 話 番 号 (03)5201-3995
(URL <http://www.ycmd.co.jp/>)

中期経営計画に関するお知らせ

2018年5月17日に株式会社東京証券取引所に提出致しました弊社の中期経営計画につきまして、投資家の皆様の閲覧性向上のため本日任意開示致します。

【添付資料】

2018年度～2020年度 中期経営計画

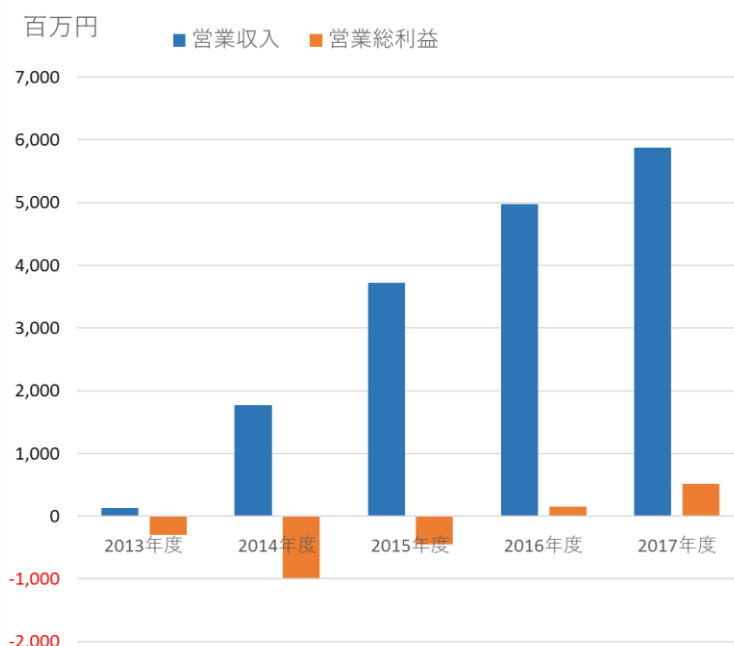
2018年度～2020年度 中期経営計画

1. 中期経営計画の基本目標

- (1) 第二ステージの主力事業であるセンター事業の業容拡大
- (2) フード事業や物販事業などの高齢者向け生活支援事業の開発と業容拡大
- (3) 長期的視野での新規事業の開発
- (4) 強固な財務基盤の確立

2. 過去の業績推移と今後の課題

- (1) 2002年の創業以来、『なごやか』のブランド名で単独通所介護施設を東京・神奈川を中心に展開していたが、2013年度から第二ステージの主力事業として、『総合ケアセンター』をブランド名とするセンター事業を開始した。
- (2) 2016年度に、センター事業の赤字累積により財務内容が悪化したため、それまでの主力事業であった単独通所介護事業を事業譲渡した。現在は、センター事業に経営資源を集中している。
- (3) センター事業単独の業績推移は、グラフの通り。今期は、センター事業開始



後6年目にしてようやく黒字達成の見込みである。

- (4) センター事業は、先例のない事業であったため、これまで試行錯誤を繰り返してきた。事業モデルの確立によりようやく成功しつつあるが、さらに効率化と標準化を進めることによってブラッシュアップして、安定運営の実現を目指す必要がある。
- (5) 今後予測される低所得で孤独な要介護者の急増に備えて、センター数の増加によるサービス提供の普及・推進と同時に、周辺領域を含めた業容拡大の推進によって、企業の成長の実現が必要である。

3. 計画期間中の経営環境

- (1) 高齢者および要介護者が増加して介護サービスへの需要が高まる一方で、国家財政上の制約等により介護報酬の抑制政策が継続している。2018年度介護報酬改定も通所介護全般にとっては抑制的な内容であった。一方で、医療保険で対応できない介護領域での需要拡大が継続している。
- (2) 要介護者人口の増加とともに、低所得層が急増し、一人暮らし世帯が増加するなど、孤独・孤立化が進むことから、これらの受け皿となるセンター事業への需要は次第に高まると予想される。
- (3) フード事業については、介護施設での人件費負担の大きな調理業務のコスト圧縮ニーズから、当グループが省力化を重視して開発した『ニコ楽パック』などの商品需要は、拡大する見込みである。

4. 中期経営計画の基本方針と業績目標

(1) 基本方針

- ① 来期以降年間 20 センター以上の新規開設
- ② フード事業等生活支援事業の売上拡大強化

(2) 2020 年度末における業績目標

- ① センター総数 120
- ② 売上 150 億円(センター事業 130 億円、生活支援事業 20 億円)

5. 目標を達成するための業務戦略

- (1) サービス内容の向上とサービスオペレーションの見直しによる効率化と標準化の推進
- (2) 利用者確保のための営業強化
- (3) センター事業のブランドイメージの向上
- (4) 来期以降の新規開設の加速

6. 長期戦略の展望

- (1) センター事業の業容拡大
- (2) フード事業や物販事業などの高齢者向け生活支援事業の業容拡大
- (3) センター事業と生活支援事業を凌駕する新規事業の開発・育成と業容拡大
- (4) 社会的価値と経済的価値の統合による企業価値の最大化と価値創造の永続的連鎖の実現

7. 計画期間の業績予想

	2017 年度 (実績)	2018 年度 (予想)	2019 年度 (予想)	2020 年度 (予想)
営業収入	6,245	7,100	8,500	10,000
営業利益	-199	526	1,050	1,650
経常利益	-273	450	1,000	1,600
当期純利益	-299	358	700	1,100

<参考;センター事業と生活支援事業を合わせた実績と業績予想推移グラフ>

